

学校運営協議会で児童がインタビュー（高千帆小学校）

高千帆小学校は今年創立150周年を迎えます。そこで、記念事業の一つとして高千帆小学校の過去や現在、未来について学校運営協議会委員にインタビューすることになりました。「小学校生活の思い出で心に残っていることは何ですか」や「高千帆の子どもたちには、これからどんな力をつけてほしいと思いますか」などを緊張しながら尋ねたり、聞き取ったことをメモしたりしていました。今後、どのような回答結果が示されるのか楽しみであることはもちろんですが、児童の学校運営協議会への関わり方も参考になる事例でした。



もみの木広場（厚陽小学校）

30年以上前から中央図書館で活動している読み聞かせグループ『もみの木広場』によるお話の会が、厚陽小学校で開催されました。おそろいのエプロンをつけた会員の方の話術や動作があまりに巧みなので、子どもたちは話の展開にわくわくドキドキしたり、話し手の言葉を真似て繰り返したりしながら、すっかりお話の世界に浸っている様子でした。その表情はとても穏やかで微笑ましくもありました。登場人物に自分を重ね合わせて疑似体験をしたり、想像力を高めたりできる本のよさを実感したように見えました。



あいさつ運動（厚狭小学校）

厚狭小学校では、原則毎月15日にあいさつ運動が実施されます。3年前からはPTAも加わって、地域のふるさとづくり協議会の方と一緒に3つの出入りに立ち子どもたちに声をかけておられます。保護者が自分の子どもや登校グループの様子を知ることは、子どもの安心安全を守ることにつながります。この日は週の初めでしたが、夏休みが近いということもあってか、子どもたちはさわやかな顔で校長先生や見守ってくださっている方々に元気よくあいさつをしながら登校しました。

